

contents

- | | |
|-------------|----------|
| 2 決算特別委員会 | 13 審議結果表 |
| 5 先進地事例調査研究 | 14 特別委員会 |
| 6 第5回定例会 | 15 議会日誌 |
| 8 意見書 | 16 スマイル |
| 9 一般質問 | インタビュー |

小学生の頃からの
友人との写真



【タイトル】二十歳!!
【撮影場所】アゼリアホール

大竹市議会だよりの
表紙写真を募集しています

応募方法は市のホームページ又は
議会事務局までお問い合わせください。



▶ 決算特別委員会

----- 令和5年度決算を審査 -----

中川委員長以下6名の委員で構成する決算特別委員会において、10月17日、18日、21日、慎重に審査した結果、可決すべきものと決しました。その後本会議での採決の結果原案の通り認定。

決算
特別委員

委員長：中川 智之 副委員長：藤川 和弘
委員：中野 友博 豊川 和也 山代 英資 岡 和明 寺岡 公章

委員会における質疑及び答弁の一部

▶ 選挙啓発費

Q 令和5年度に選挙管理委員会が行った選挙啓発の内容を伺う。

A 若者の投票率向上のため、18歳到達により定時登録で初めて選挙人名簿に登録された方へのはがき送付や、市内の中学校、高校での出前講座、市広報への記事掲載などを行っている。

▶ 障害者施設通所交通費助成費、重度心身障害者タクシー助成費

Q 障害者施設通所交通費助成費及び重度心身障害者タクシー助成費の増額理由について伺う。併せて、利用状況についても伺う。

A 助成金額の改定と対象範囲の拡大に伴い、増額となった。障害者施設通所交通費助成費については、令和5年度より助成額を、1日当たり280円から、1日当たり420円と改定した。利用者数は、令和4年度43名だったが、令和5年度は49名と微増となった。また、重度心身障害者タクシー助成費については、令和5年度より対象者の見直しを行い、身体障害者手帳1から3級で下肢・体幹・内部・視力に障害がある方、療養手帳(A・A・B)の方、精神障害者保健福祉手帳1級の方とした。対象を広げたことで、利用者数は、令和4年度307名から、令和5年度は435名と増加した。

－ 令和6年11月号の記事の訂正について －

2ページ生活環境委員会主な審査内容の記事で、「給排水費」とあるのは、「給配水費」でした。また、11ページ基地周辺対策特別委員会の記事で、「防衛省・外務省から報告があった」とあるのは「防衛省から報告があった」でした。訂正して、お詫びいたします。

ふれあい戸別収集業務

Q ふれあい戸別収集の件数及び、事業の周知方法について伺う。必要な人に必要なサービスを提供するため、民生委員や自治会長との連携が必要と考えるが、考えを伺う。

A 令和5年度末現在、ふれあい戸別収集の利用者は103件となっており、前年度と比較して10件程度増加している。周知方法としては、ごみカレンダーや市広報、ホームページなどで周知を図っている。また、地域包括支援センターや介護事業所等にも、ふれあい戸別収集の申請書を設置するなどして周知を図っているところである。民生委員や自治会長との連携については、現在、民生委員や自治会長に対して、お知らせするまでに至っていないが、個々の状況も踏まえ、関係所管課などと協議をしていきたい。

野猪等被害防除施設設置事業

Q 有害鳥獣の捕獲実績、被害額及び野猪等被害防除施設設置事業補助金の申請件数について伺う。

A 有害鳥獣の捕獲実績は、イノシシ41頭、タヌキ1頭、カワウ1羽、ハクビシン3頭、アナグマ1頭、ツキノワグマ1頭で、被害額は、イノシシ23万1,000円、タヌキ9万6,000円、ハクビシン8万円、鳥類274万円となっている。申請件数は、防護柵の設置が20件で、1,787メートル分を支援している。

観光宣伝等事業

Q 観光宣伝等事業について、パンフレットの配布状況について伺う。

A 令和5年度にパンフレットを全面的に改訂して、8,000部作成した。配布場所については、県内の大竹市の特産品を扱う施設や市内の施設に設置している。また、行事、イベント等で配布している。

市営街灯設置設計業務

Q LED化した市営街灯設置数は、令和4年度末時点で1,082基、LED化率49%であったが、それぞれ、現在の状況について伺う。また、工事請負費302万5,000円を市営街灯設置設計業務委託料へ流用した理由について伺う。

A 令和6年1月時点で市営街灯2,212基のうち1,167基のLED化を実施済みであり、LED化率は約53%である。302万5,000円を市営街灯設置設計業務委託料へ流用し、執行した理由は、市道大竹港線に設置している市営街灯をLED化するため、工事請負費を予算計上していたが、工事を進めたところ、多くの埋設管が存在したため、業務の委託が必要となり、そのための費用を流用し、事業を実施したためである。

自主防災組織育成指導事業

Q 避難の呼びかけ体制構築支援補助金について、令和5年度の申請状況と使途を確認したい。また、申請手続きが複雑で見送る組織があるとの声を聞くが、手続きの簡素化を検討できないか何う。

A 2団体から申請があり、合計19万8,000円を交付した。使途としては、訓練やその他の自主防災活動に使用する物品として、リヤカーや担架、ヘッドライトや簡易トイレ等を購入されている。申請手続きについては、財源として県の補助制度を活用しているため、それに合わせた手続きが必要となり、本市のみでの簡素化は困難。ただし、本市ホームページでも制度を紹介しており、申請の意向がある場合は助言も行っている。

瀬戸内リレーマラソンin大竹

Q 瀬戸内リレーマラソン in 大竹について、第1回大会は非常に盛り上がりを見せていた。参加者数、協賛企業数、出展事業者数について、当初の想定と結果を比較した所感を何う。また、今後の継続開催に向けた課題はなにか。

A 参加者数は当初700人程度の見込みに対し730人、協賛企業数は15社の見込みに対し34社、出展事業者数は10件の見込みに対し14件と、いずれも想定以上の結果となった。次は一般参加者の割合をもう少し増やしたいと考えている。継続開催に向けては、参加者アンケートを基にコース設定や運営方法を改善し、より魅力的な大会を目指す。また、収支バランスを考慮しながら、大竹市ならではの特色ある企画も検討していく。

図書館費

Q 図書館費で令和5年度の図書の受入状況と受入の基準について何う。また、令和5年度の図書の除籍数と除籍の基準、本の扱いについて何う。

A 寄贈された図書も含めて年間4,497冊。図書の受入方法については、主に株式会社図書館流通センターが作成する公共図書館向け新刊書情報誌の週刊新刊全点案内により職員が選書して購入している。選書する際は、利用者からのリクエストで他館から借り受けない最新の図書やレファレンスを受けた時に自館になかった資料、情報が古くなった資料、破損・汚損した資料を買い換えるようにしている。また、令和5年度に除籍した図書は3,841冊である。旅行情報誌など情報が古くなった資料や破損・汚損による書架から除く必要がある本を除籍している。除籍した本は、全部ではないが、コイ・こいフェスティバルの時に、1人10冊まで自由に持ち帰れるように提供している。



先進地事例調査研究

令和6年10月23.24.25日 生活環境委員会 委員長 細川 雅子

東京都町田市 「デイサービスラスベガス」について 令和6年10月23日(水)

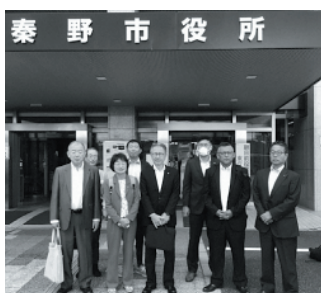
神奈川県秦野市 「自治会ICT化の取り組み」について 令和6年10月24日(木)

東京都大田区 羽田イノベーションシティ自動運転バス見学 令和6年10月24日(木)

東京都大田区 「自動運転バスの取り組み」について 令和6年10月25日(金)

町田市の「デイサービスラスベガス」では、麻雀やカードゲームなどのゲーミング要素を取り入れた独創的な介護施設を視察しました。一般的なデイサービスの男性利用率が2～3割程度である中、約6割という高い利用率を実現しています。「独居は認知症の発生リスクを高める」との考えから、まずは「家から出ていただく」ことを重視。介護車両と思わせない車両の使用や、病院のような内装を避けるなど、利用者が自発的に通いたくなる工夫を施してい

ます。また、給与体系の明確化や事務作業の効率化により、スタッフが働きやすい環境づくりにも成功しています。この他、秦野市では自治会のICT化、大田区では自動運転バスの実証実験など、先進的な取り組みを学ばせていただきました。これらの知見を本市の施策に活かし、市民の皆様の暮らしやすいまちづくりにつなげてまいります。



令和6年10月28.29.30日 総務文教委員会 委員長 小田上 尚典

茨城県つくば市 「中学校部活の地域移行」について 令和6年10月28日(月)

千葉県船橋市 「業務改善に係る取組方針」について 令和6年10月29日(火)

東京都三鷹市 「コミュニティスクールに関する取組」について 令和6年10月30日(水)

茨城県つくば市では、教育委員会の方を中心にお話を聞かせていただき調査研究を行いました。その中で完全な部活の地域移行ではなく、土日など休日の指導・引率についての取り組みを行っており、メリットや課題など様々な実体験を聴かせていただきました。千葉県船橋市では、担当課の方から「行財政改革推進プラン」を策定、デジタル化による業務の効率化や業務システムの最適化、組織・職員

の見直しなどの取り組みを伺い、書かない窓口業務を見学させていただき、東京都三鷹市では地域と連携・協力し、保護者地域住民等の学校運営への参加を積極的に進めることにより、創意工夫と特色ある学校づくりを行っており、学校を軸としたコミュニティづくりの取り組みを調査研究し、いずれも活発な意見交換を行いました。



総務文教委員会 主な審査内容



常任委員会は「総務文教」と「生活環境」の2つがあって、議員の名がそれぞれ専門的に議案を審査するんですよ。

定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の制定について

Q 募集の対象が45歳以上とあり、働き盛りの有能な人材が退職する懸念について問う。

A 今回、導入しようとしている早期退職募集制度は、定年延長により、職員の年齢層が上振れすることから、将来的な職員の年齢構成をできるだけ平準化する「一つの方法」として導入しようとするものである。この制度を利用して退職した場合、退職手当が一定程度、割り増しされるが、それを理由に、大勢の職員が、次々に早期退職し、その結果、組織が成り立たなくなるといったことは、想定していない。実際のところ、職員一人一人、様々な事情があり、思いを持っている。この制度が導入されることによって、いろいろな考ええる職員もでてくると思う。ただ、この制度の側面として、早期退職することによって、その人の人生が、より良いものになるのであれば、それを後押しできる制度であるとも言える。

Q 早期退職募集制度の募集人数、職員の範囲の選考基準について問う。

A 人数や、職員の範囲を設定する際には、どの年齢層が適当なのか、また、職種や職位も含めて考えるの

か、といったことを検討したうえで、募集人数や、その範囲を設定することになると思う。早期退職者を、漫然と募集した結果、特定の年齢層や職種、あるいは職位にある職員の人数が、極めて少なくなってしまうということでは、組織運営上、支障が生じる恐れがある。まず、組織として十分に機能できるという状態を想定したうえで、将来的に、職員の年齢構成の平準化につながっていくのか、という視点をもつて基準を考えていく必要がある。

財産の無償譲渡について

へ地域情報通信基盤（光ファイバケーブル）設備一式

Q インターネットやIP電話等のサービス加入状況は、令和6年3月末で栗谷地区が約90%、阿多田地区が約50%であるが、譲渡後の運用について問う。

A 無償譲渡の相手方である株式会社ちゅピコムとしては、ケーブルテレビ事業者の使命として、今後も事業収入が少なくない中山間地域や阿多田地区で、事業縮小をすることは考えていないと聞いている。

Q 地域情報通信基盤は、設置してからかなりの年数が経過しているが、令和元年度から5年間の平均の維持費について、また、無償譲渡後の市の

財政的な負担について問う。

A 修繕費や維持費については、大竹市が所有者として請求を受けて、一旦支払いをして、年度末に株式会社ちゅピコムに請求するものと、工事費など株式会社ちゅピコムが直接負担する2種類がある。まず、本市が一旦支払うものについては、電気代や地権者への支払、海底ケーブルなどの使用料があり、年間の平均で約1100万円になる。次に、株式会社ちゅピコムが直接負担するものについては、光ケーブルや設備の維持管理や工事費などがあり、年間の平均で約680万円になる。これらは、契約によって現在も株式会社ちゅピコムが負担しているため、譲渡後に増減はないと思われる。また、今後の負担についても、譲渡後は基本的に大竹市の支出に関してはゼロという試算である。

令和6年度大竹市一般会計

補正予算（第5号）について

Q 介護・福祉人材確保事業の初任者研修委託料の委託先及び研修の計画について問う。

A 委託先については、介護や福祉の資格を取得するための講習を行っている事業者に対して委託する予定である。具体的には、大竹市に委託先の講師に来ていただき、週1回の開催

で、合計で14日間、約3ヶ月の研修を行う予定である。研修後は、委託先に就労相談を行っていただくことを考えている。

Q 介護保険緊急支援事業の内容について問う。

A 介護保険緊急支援事業は、今回閉鎖されるデイサービスの利用者その他のデイサービスを利用するのに、距離的、時間的、人材不足などで事業者の送迎が難しい場合に、送迎費用の支援を行う事業である。具体的には、デイサービスを利用するのにタクシーなどを活用した場合、その送迎の費用を市が支援するものである。

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決

本会議へ

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

生活環境委員会 主な審査内容

財産の取得について（こいこいバス）

Q 新車両に装備される衝突防止補助システムについて、運行中のバスの前に障害物が現れ、システムが急にブレーキをかけた場合、立って乗車している者が怪我をするという危険性はないのか問う。

A 乗用車では衝突被害軽減ブレーキ、いわゆる自動ブレーキアシスト機能が付いたものがあるが、立席のある路線バス等では、自動ブレーキ等の作動に伴い、車内での転倒事故に繋がる恐れがあるという理由から、自動ブレーキの設定がない。今回整備する衝突防止補助システムは、運転手に危険を知らせる運転支援装置であり、ブレーキの対応は運転手が行うこととなる。

令和6年度大竹市介護保険特別

会計補正予算（第2号）

Q 介護予防教室は、どこで、いつまで開催されるのか。また、従来のデイサービスと同じ頻度で利用できるのか問う。

A 介護予防教室は閉鎖される事業所を利用しての方のほか、要介護認定で要支援1、要支援2及びチェックリストで総合事業の対象と認定された方を対象とし、デイサービスの代わりとして開催する予定である。そ

のため、利用回数は地域包括支援センターの職員が作成するケアプランに基づくこととなるが、事業を委託する実施者や実施する場所によって、変わることも考えられる。

なお、総合事業を行う事業所の増加や、他の新たな教室が実施されることになれば、介護予防教室を終了する予定である。

令和6年度大竹市水道事業会計

補正予算（第1号）について

Q 債務負担行為を1億1500万円増額する補正予算を計上しているが、内容は人件費の増額だと考えてよいのか問う。

A 一番の大きな要因として、人件費の高騰を考慮したためであるが、その他の要因として、高騰している電力費の今後の動向を考慮していること。他に、防鹿水源地の電気機械の計器の修繕を受託者において対応できるように増額している。

工事請負契約の締結について

（大竹駅西口交流広場整備工事）

Q 大竹駅西口交流広場は今後、イベント等を行う広場になると考えている。キッチンカー等の使用が想定されるが、その際に使用可能な電源設置の予定について問う。

A 大竹駅西口交流広場には街灯を設置する予定であり、その街灯のうち5箇所コンセントを設置する予定である。



大竹駅整備工事中の西口交流広場

工事請負契約の締結について（晴海臨海公園西側駐車場等整備工事）

Q 今回の整備ではインクルーシブ遊具は含まれないか問う。

A この度の整備ではインクルーシブ遊具は含まれないが、インクルーシブについては、昨年度からの課題であり、現在の遊具広場に新たにお絵かき広場を設置したいと考えている。設置する予定のお絵かき広場については、各種団体に問いかけをしているところであり、意見を集約したうえで今年度中に設置したいと考えている。

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決

第5回定例会は、令和6年11月28日～12月13日の16日間行われました。

詳細については、令和7年3月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。





可決 政府・国に対して意見書を提出しました

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書について



意見書（抜粋）

今日では、就業者の9割を会社員等の被用者が占めており、地方議会議員のなり手も会社員等からの転身者が期待されている。

地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、議員活動が続けることができる環境が整うようになる。多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

あなたのご意見をお聞かせください!! 大竹市議会だよりアンケート



広報広聴特別委員会では、見やすくわかりやすい紙面づくりに取り組んでいます。
市民の皆さまのご意見をお聞かせください。今後の紙面編集の参考にさせていただきます。

アンケートはこちらから▶



議会を傍聴しませんか

市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているのか傍聴してみませんか。

また、動画配信サイト（YouTube）でも議会の様子を公開しています。下記バーコードを読み取っていただくと視聴できます。

3月議会日程(予定)

本会議	3月3日(月)
常任委員会	3月3日(月)
〃	3月4日(火)
特別委員会	3月5日(水)
本会議	3月10日(月)
〃(予備日)	3月11日(火)
予算特別委員会	3月13日(木)
	～17日(月)
〃(予備日)	3月18日(火)
本会議	3月25日(火)



こちらから視聴いただけます。▼



大竹市議会豆知識

二代表制とは

地方自治体では、首長と議会議員とともに住民が直接選挙で選び、首長（大竹市の場合は大竹市長）、議会がそれぞれ住民に対して直接責任を負うという制度をとっています。これを二代表制といいます。

二代表制の特徴は、首長、議会がともに住民を代表するところにあります。ともに住民を代表する首長と議会が相互の抑制と均衡によってある種の緊張関係を保ちながら、議会が首長と対等の機関として、その地方自治体の運営の基本的な方針を決定（議決）し、その執行を監視し、また積極的な政策提案を通して政策形成の舞台となることこそ、二代表制の本来の在り方であるといえます。



大竹市議会YouTube

名前横の時間はyoutubeの動画の一般質問開始時間です。



1日目



2日目

第5回定例会

一般質問

8名が登壇

【11月28日(1日目)】

山代 英資

(8:07~)

クーリングシェルターの取組について
本市の介護施設の状況について

中野 友博

(36:59~)

大竹市観光振興計画を策定しませんか
大竹市防災の日をつくりませんか

西村 一啓

(1:20:53~)

市内の道路状況や管理・修復等について伺う

小出 哲義

(1:58:26~)

大竹市の定住促進施策を新たな観点から考察する

岡 和明

(2:47:09~)

どんな文化政策を構想していますか

日域 究

(3:11:08~)

不登校の原因はどこにある

【11月29日(2日目)】

小田上 尚典

(1:16~)

小・中学校のタブレット活用、更新について
小・中学校に配置されているICT支援員について

豊川 和也

(55:32~)

カプセルトイ（ガチャガチャ）の活用で大竹市の魅力
アピールへ
来年度の指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の
設置予定について

答

今年度は熱中症特別警戒情報が発表されなかったため、実績はありませんでした。初の試みであり、取組についてはポスターなどで周知に努めました。運用期間中の指定施設ですが、通常時と変わらず利用していただいたと認識しています。

来年度以降の利用拡充については、状況を見ながら検討します。また、民間事業者との協力体制に

問

クーリングシェルターの取組について



やましる ひでただ
山代 英資

答

市内事業所への就労支援・就労継続支援を行うため、12月議会に補正予算を提案しました。

人材確保の問題は、介護・福祉分野だけでなく市全体の問題として優先的に取り組む必要があると認識しています。今後も効果的な支援の手法などについて検討します。

問

本市の介護施設の状況について

については申し出があれば協議をしていきます。





なかの ともひろ
中野 友博

大竹市観光振興計画を 策定しませんか

問

2023年3月、下瀬美術館が開業されました。観光の拠点ができ、これから数年後には、道の駅開業が計画されています。

しかし本市には観光の方向性を示す計画・資料が現時点ではありません。これまで以上に関係人口増加に向けた取り組みが必要になります。本市の観光に対する考え・課題について問います。

答

これまででは市のPRの観点から自然や文化的施設の観光資源を活用してきましたが、民間美術館や民間宿泊施設の開業により、観光客だけでなく消費も増加しつつあります。

観光客の滞在時間を伸ばし消費を促せるよう、効果的な取組や施策を行うために、まずは指針の作成が必要と考え、データの分析や作成のタイミングを検討しているところです。

大竹市防災の日を つくりませんか

問

本市では防災リーダー育成に取り組んでいますが、本市が期待する地区での役割について問います。

防災リーダーの課題は、各地区での情報発信、当事者意識を持つため、認識を高めるように巻き込む、防災リーダーの存在をどう認知してもらうかなどがあります。そこで、前述の課題を解決するための取組として行政主導の避難訓練について提案します。

答

防災リーダー育成の取組は、自主防災組織の育成や活性化を目的に実施しています。防災減災のためには自助、共助、公助、それぞれが機能することが重要であり、防災に関する知識や技能を習得した防災リーダーの存在は必要不可欠です。防災リーダーが自主防災活動を牽引することで、地域の防災力を高めていけると考えています。

防災の日のような統一的な防災訓練を実施する予定はありませんが、県の実施する総合防災訓練などの機会に合わせて防災意識を高める取組や周知の手法について検討します。



にしむら かずひろ
西村 一啓

市内の道路状況や 管理・修復等について伺う

問

人口減少が進む中、住みだいまち、住んでよかつたまちを作っていく上で、道路問題は喫緊の課題です。

本市の都市計画道路は、昭和32年に都市計画決定されて現在では37%の達成率と聞いております。この50年余りに中市立戸線、玖波青木線、南栄下白石線等が整備されていますが、幹線道路のひび割れ、路面荒れ、路側線が薄くなっている等の問題や市内の高齢者の通院、買い物等に利用する歩道の整備や段差問題、更には子どもたちの通学路や市内にある水路部分の安全性の確保等々、中長期的な計画や構想は、どのように考えていますか。また、水道事業（管路の交換）や西国街道の修復等を含めた道路事業の取組を伺う。

答

市が管理する道路は非常に長く、職員によるパトロールや点検ではすべての道に目が届いていないのが現状であり、道路補修に対する要望や意見は数多く寄せられています。要望には、見通しの悪い箇所へのカーブミラー設置や白線などの路面標示による通行帯の明確化、歩行者の水路などへの転落防止などがありますが、危険性や緊急性を勘案しながら対応しています。特に通学路は、学校やPTA、道路管理者、警察などが合同点検を行い、危険箇所の対策を行っています。大規模な舗装修繕が必要な場合には予算措置を伴いますので、優先順位を付け計画的に道路修繕に取り組んでいます。

また、水道事業（管路の交換）に係る取組については、道路内の埋設物占有者の更新計画とも調整しながら、修繕を行っています。小方・苦ノ坂の西国街道の一部が斜面崩壊で通行できず、仮設の通路を設けていますが、元の道に接続することができないか検討しています。



西国街道苦ノ坂登り口



こいで てつよし
小出 哲義

大竹市の定住促進施策を 新たな観点から考察する

問

少子化による人口減少と、東京圏への人口の流出は、地方都市が抱える喫緊の課題です。本市では、様々な定住促進の施策が試みられ、一定の成果を上げていますが、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）といった新しい価値観を踏まえて施策の更新ができないかを問います。住みよさランキングにおいて常に上位に評価される大竹市の魅力は、一通りの都市機能を備えながら、自然と人が融合した街であることと考えられます。新しい価値観を持つミレニアル世代が注目してくれることを期待します。また農地法第3条の改正は、中山間地域の新規就農者の支援となると同時に、市街地においても「農のある生活」の可能性を広げたといえます。移住・定住促進を高めるための積極的なアピールとその手法においても検討をお願いします。

答

日本全体で人口減少が続く中、本市においても人口減少が続く事実をしっかりと受け止め、まずは市民の皆さまが、大竹のまちで幸せに暮らし続けていくための住みよいまちづくりに向けた施策を講じていくことが、移住する方への後押しになると考えています。

これまでの取組により、本市は、住みよさランキングで、過去5年以上、県内トップクラスを維持しており、また人口戦略会議が発表した消滅可能性自治体からも脱しています。

ミレニアル世代をターゲットに、本市の特性を活かして生活設計のサポートを行う取組は、人生における幸福感や充実感を実現でき、大変魅力的な取組であると考えていますが、現状で直面している地域課題も山積していることから、優先順位をつけて事業を進めていく必要があります。まずは、ミレニアル世代に対して、子育てがしやすい、住みよい環境という強みをしっかりとPRしていきます。



おか かずあき
岡 和明

どんな文化政策を 構想していますか

問

本市はこれまで文化政策が極めて手薄でした。代表的文化遺産の亀居城は木や雑草で覆われて夏場は踏み込めず、昼間からイノシシが出たり、マムシが出たりして、市民も遠のいています。城や西国街道とのつながりで文化価値の高かった小方旧市街も消滅しかかっています。

令和6年1～9月の訪日外国人客は約2700万人で、その消費額は6兆円近く。国内観光客はその数倍の規模です。国は観光立国を目指しており、その基盤となるのが地域の文化や自然ですが、本市の実情は冒頭の通りで、国の政策に何も貢献せず、市民は訪日客の消費だけで年8兆円の大きな経済分野の恩恵に全くあずかれずにいます。本市は今後どのような文化政策を構想していますか。

答

第1期まちづくり基本計画では、まちへの愛着を育む歴史・文化の保存と継承を推進していくとしています。そのため、手書き和紙など伝統文化の保存や継承の取組をおおたけ手書き和紙保存会と連携して行うほか、郷土の歴史を学ぶ取組を大竹市歴史研究会と連携して行っています。また、文化財保護や郷土の歴史継承の機運を高めていくため、講座の開催や広報などの啓発活動も行っています。そのほかに文化の振興としては、各種文化団体や生涯学習グループへの支援を行い、公民館まつりなどを開催しています。

今後も、文化財の保護及び文化の振興を図っていくために、市と教育委員会が連携し、工夫しながら文化政策を推進します。



亀居公園のある桜山から、海と島の冬日絶景



じついき きわむ

日域 究

不登校の原因はどこにある

問

このグラフは文科省の全国不登校児割合の推移です。直近5年間で小学生も中学生も倍増し中学生はなんと6%です。その原因として、長時間保育や放課後児童クラブの長時間化も関係し、大人の監視が無い中で子どもだけで上手に楽しく遊ぶことの経験不足、加えて家族と過ごす時間の不足もあると思われませんか。

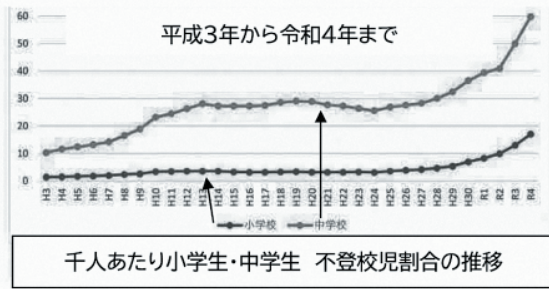
今でも人気のドラえもんですが、あの様な子どもだけの場面はこの世から消えてしまいました。30年前の話ですが、PTAの会議は保育所の終了に合わせ、4時で終わっていました。グラフを見ると当時の不登校児はわずかです。国の施策ではあります教育長のお考えを尋ねます。

答

文部科学省の調査結果では、不登校の原因として考えられるものとして「学業不振、友人関係、学校生活に対してやる気が出ないこと、生活リズムの不調、親子の関わり方」に関するものが高い割合でした。本市においても同様で、特に、「学校生活に対してやる気が出ないこと、生活リズムの不調、不安・抑うつ」に関するものが原因であると考えています。家庭状況と関わりのある原因も考えられますが、それだけが原因で不登校になっているとは考えていません。

また、保育制度（長時間保育）との因果関係については把握していません。

今後、新たな不登校を生じさせない取組を重視し、不登校等児童生徒の社会的自立を支援していきます。



問

小・中学校のタブレット活用、更新について



おだがみ なおのり

小田上 尚典

令和3年から始まったタブレット学習では、どのような課題や成果を感じていますか。

また、タブレットのリース期限などが迫っています。これまでの取組や小・中学校での異なる活用方法を加味した機種を選定をされますか。

加えて、現状は学校ごとに異なるアプリの使用などありますが、統一されるお考えはありますか。

答

タブレット学習に苦手意識をもつ教員がいることや、ICTの活用自体が目的になり、児童生徒にとって、効果的な学びになっていないなどの課題はありますが、これまでの実践の積み上げにより、児童生徒の発達段階に応じた課題の提供ができています。

タブレットの機種選定については、広島県が設置する共同調達を目的とした協議会において、導入するOS部会ごとに仕様を作成します。

問

小・中学校に配置されているICT支援員について

現在、大竹市はICT支援員を配置し4年が経過しています。教育現場の希望に添える支援になっていきますか。

支援員と継続してICT活用をステップアップさせていくために複数年の契約が必要だと考えます。

答

アンケートでは、次年度もICT支援員の配置を希望する教員が大多数を占めています。ICT支援員の支援が授業の質の向上につながるよう、学校現場とともに取り組めます。

複数年契約については、委託業者の考え方によって、必ずしも同じ支援員による長期的な支援が担保される訳ではありません。費用面でも、単年契約よりも3年契約とした方が高額であったため、単年契約としています。よりよい契約になるよう努めます。



とよかわ かずや
豊川 和也

カプセルトイ(ガチャガチャ)の活用で大竹市の魅力アピールへ

問 地元ガチャ、街ガチャ等、カプセルトイを活用して地域の魅力を発信する市町村が増えています。本市も夜景の写真キーホルダーやコイちゃんキーホルダーなどを街ガチャにして市役所や公共施設に設置をしませんか。低コストで魅力をアピールできます。

答 現時点では、市が単独で実施することは難しいと考えています。市内外から人呼び込む手段の一つとして、今後、観光資源が充実した際には実施に向けた検討ができるよう、他市町の事例など情報収集を行います。



田布施町の街ガチャ
キーホルダー

来年度の指定暑熱避難施設(クーリングシエルター)の設置予定について

問 今年の夏季も災害級の暑さでした。クーリングシエルターが本市でも設置されましたが来年度は民間との協定締結、クーリングシエルター施設に飲用水等の設置、のぼり旗や周知などを強化して市民の安心安全を守っていただきたいと思います。本市のお考えをお聞かせください。

答 今年度は、民間事業者との協定締結の実績はありませんでしたが、申し出があれば協議し、条件が整えば協定を締結し施設を指定します。

施設の指定にあたっては自動販売機が設置されていることを条件としたことや、暑熱避難を目的として施設を開放することから、飲用水等の提供までは考えていません。来年度も今年度と同様に周知の取組を実施しながら状況を見て対応を検討します。



田布施町の街ガチャ

第5回市議会(定例会) 主な議案の審議結果表

議案など	北地 範久	中野 友博	豊川 和也	山代 英資	岡和 明	小出 哲義	末広 天佑	藤川 和弘	中川 智之	小田 上尚典	西村 一啓	山崎 年一	日域 究	細川 雅子	寺岡 公章	審議 結果
議案第60号 定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号 財産の取得について(小型ノンステップバス(こいこいバス))	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号 財産の無償譲渡について(地域情報通信基盤(光ファイバケーブル)設備一式)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号 令和6年度大竹市一般会計補正予算(第5号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第71号 令和6年度大竹市介護保険特別会計補正予算(第2号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号 令和6年度大竹市水道事業会計補正予算(第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第78号 工事請負契約の締結について(大竹駅西口交流広場整備工事)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第79号 工事請負契約の締結について(晴海臨海公園西側駐車場等整備工事)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

一: 議長 ○: 賛成 ●: 反対 欠: 欠席 棄: 棄権

基地周辺対策特別委員会

執行部からの主な報告 令和6年12月4日

●阿多田島における騒音dB(デシベル) 値測定状況

阿多田島測定地 令和6年

月	90dB以上	80dB以上	70dB以上	測定回数
8月	5回	62回	63回	130回
9月	0回	124回	74回	198回
10月	25回	154回	78回	257回
合計	30回	340回	215回	585回

●令和6年度上半期 米軍機の航空機騒音発生状況等の概要について

集計対象期間 4月1日～9月30日

測定地点	移駐完了前	移駐完了後						
	H29年度上半期	H30年度上半期	R元年度上半期	R2年度上半期	R3年度上半期	R4年度上半期	R5年度上半期	R6年度上半期
阿多田島	832回	1,686回	1,843回	1,182回	1,399回	1,836回	2,144回	1,473回
西米	52回	53回	45回	54回	111回	532回	775回	423回

議会のあり方調査研究特別委員会

本紙前号でご紹介以降、11月1日（金）、21日（木）、12月4日（水）、27日（金）に会議を開催し、研究テーマについて協議を始めました。

まず議会モニター制度については、いわゆる商品モニターのような直接的な制度の導入ではないとの方向でまとまりました。市民に信頼される議会であるために、市民参加が促進されるよう、議会活動に広聴やモニタリングの要素を加えていく工夫を模索するというものです。

そこで、もう一つのテーマである議会報告会のあり方にその要素を加えていく取り組みを始めました。あるべき姿の共有を図り、実施要綱の見直しを視野に入れ、報告会の実行グループに向けて提案できるものを作成する作業に入りつつあります。

なお成果物を明らかにする目標は、3月定例会を目標にしています。

小方まちづくり特別委員会

●旧小方小・中学校跡地 ABCD 地区の進捗状況について市からの報告

A地区(事業用地)	跡地活用事業者公募型プロポーザル開始
B地区(中高層住宅・小規模商業用地)	進展なし
C地区(小方駅周辺等住民代替用地)	進展なし
D地区(道の駅)	道の駅基本構想・基本計画策定等業務の経過報告

●小方新駅についての報告

新駅検討の一環として令和6年10月より「近隣他駅事例調査」開始。令和7年2月に公表予定

●これまでの委員活動により出た意見を集約し議長へ提出

これまで周辺市町の公共施設や道の駅への視察、民間活力導入事例の調査研究などを行ってきました。これらの活動を基に各委員の意見をまとめた「道の駅基本構想・基本計画策定等業務に係る 小方まちづくり特別委員会 意見報告書」を議長へ提出することを決定しました。

議会日誌

令和6年12月
～令和7年3月

令和6年

12月2日 総務文教委員会
総務文教委員政策研究会
3日 生活環境委員会
生活環境委員協議会
4日 基地周辺対策特別委員会
小方まちづくり特別委員会
議会のあり方調査研究特別委員会
11日 小方まちづくり特別委員会
13日 議会運営委員会
本会議
総務文教委員会
生活環境委員会
基地周辺対策特別委員会
議員全員協議会
19日 小方まちづくり特別委員会
27日 議会のあり方調査研究特別委員会

2月6日 市議会議員共済会代議員会(東京都)
7日 全国高速自動車道市議会協議会総会(東京都)
12日 広島県市町総合事務組合議会定例会(広島市)
25日 議会運営委員会
3月3日 本会議
総務文教委員会
4日 生活環境委員会
5日 基地周辺対策特別委員会
小方まちづくり特別委員会
議会のあり方調査研究特別委員会
10日 本会議
11日 本会議
13日 予算特別委員会
14日 予算特別委員会
17日 予算特別委員会
18日 予算特別委員会
25日 本会議

令和7年

1月9日 総務文教委員政策研究会
基地周辺対策特別委員会
10日 議会のあり方調査研究特別委員会
14日 生活環境委員政策研究会
小方まちづくり特別委員会
28日 全国市議会議長会基地協議会総会(東京都)
30日 石油基地防災対策都市議会協議会(和歌山市)
31日 石油基地防災対策都市議会協議会
視察研修(和歌山市)

【視察来訪】
12月19日 群馬県みどり市議会「公共交通政策について」
1月22日 香川県三豊市議会「議会運営等について」
清溪セミナー「大竹市の地域公共交通について」
23日 熊本県玉名市市議会
「議会だよりの編集・議会報告会について」
28日 福岡県行橋市議会
「委員会の映像配信の取組等について」



TAKE

大竹市議会広報広聴特別委員会

【大竹市議会公式Instagram】



【大竹市議会公式Facebook】

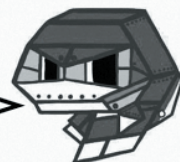


大竹市議会公式InstagramとFacebookを新たに開設しました。
広報広聴特別委員会が大竹市議会の活動を発信していきます。
右記QRコードよりフォロー、いいねを宜しくお願いいたします。



【大竹市議会公式X】

Xは、大竹市議会公式アカウント「わしこいちゃん」の
ワシが大竹市議会の活動や、大竹市の情報を投稿しとるよ！
みなさん、いいね！フォローをよろしゅうたのんます！





大竹は風通しの よいところだと思います

第47回のインタビューは

大好き大竹応援大使の

二階堂 和美 さんです。



自己紹介をお願いします

大竹在住のシンガーソングライターであり、僧侶でもあります。最初にCDを出した年から今年で26年目、2013年にはスタジオジブリ映画「かぐや姫の物語」の主題歌を作詞・作曲・歌唱しました。2014年には大竹市制施行60周年記念事業として、「公式イメージソング「大竹で生きている」」を制作させていただきました。現在は浄土真宗寺院の住職と、音楽活動と、小学生二人の子育てに日々奔走しています。



僧侶としての勤行風景（自坊にて）勤行もライブです。心を尽くして唱えます。

大好き大竹応援大使になる
きっかけを教えてください

昨年10月、市制70周年と大竹出身の作詞家石本美由起さん生誕100年を記念して、アゼリアホールで「二階堂和美toおたけ吹奏楽団Specialコンサート」を開きました。市の教育委員会に共催いただき、おかげさまで大きなイベントを無料で開催できたのですが、その企画段階で市役所の方々から大使になることを進めていただき、申し出る運びとなりました。



21人編成のビッグバンド、Gentle Forest Jazz Bandと共演するときは全員の音を一身に受け止めて爆発させます。（東京新木場STUDIO COASTにて）

大竹市の思い出の場所や
出来事をお聞かせください

母校である大竹小も大竹中も、建物は自分が通っていた頃から建て替わっていますが、場所と校歌は同じで、子どもたちが今それを歌っていることが感慨深いです。うちは大竹の中でも最西部で県境の川のすぐ傍なので、散歩

で川沿いを橋から橋と、県をまたいで一周する、みたいなことが日常的にあり、そのことが気持ちにも風通しの良さみたいなものとして、よい影響を与えてくれているように思います。夫が突然病気で亡くなったのもうすぐ3年が経ちますが、よその土地から来て大竹市民となってくれたこと、10年間大竹で共に過ごした日々が、これから私の人生を支えてくれる宝物です。

応援大使として今後どのようにして
大竹市を盛り上げたいですか？

先の公式ソング「大竹で生きている」は、健康マイスターさんが作ってくださった健康体操の振り付けのおかげで、市民の方々にも親しんでいただけて、大変ありがたいことです。また私のほうでも、同じく応援大使であるYuriko Miyakeさんをお願いして、子どもたちが歌いながら踊れる振りを付けてもらいました。今後大竹市民の皆さんが、質の高い音楽や芸術に触れる機会を身近に持てるように、よい企画を提案できたらと思います。

今後の活動など大竹市民へ
メッセージをお願いします

大竹は風通しのよいところだと思います。海も川も空も広がっている。ここ大竹で、楽しく充実した毎日を送っている私やみなさんの姿が、他の誰かの励みとなったらよいなと思っています。自分のいのちがぎつと誰かのいのちに繋がっているの、一生懸命生きていきましょー！なーんて。

12月定例会の主な流れ

CHECK!!



議会運営委員会
（議事の運営方針決定）

本会議

一般質問
議案上程
議案説明
質疑
委員会付託

委員会

質疑
討論
採決

本会議

決算特別委員会
委員長報告
委員長報告への質疑
討論
採決
委員長報告
委員長報告への質疑
討論
採決

広報広聴特別委員

委員長 藤川 和弘
副委員長 中川 智之
委員 中野 友博
山代 英資
末広 天佑
豊川 和也
小出 哲義

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

